

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年3月9日
 派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	四国中央市	代表者名	篠原 実
担当者部署	財務部	連絡先電話番号	0896-28-6204
担当者役職	課長	担当者氏名	則友 康弘
住所	799-0497 愛媛県四国中央市4丁目6番55号		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高村 弘史
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	デジタル手続法が令和元年5月31日に公布され、情報通信技術を活用し行政手続きの利便性の向上や行政運営の簡素化・効率化が求められデジタル化の要請が進む中、地方自治体におけるデジタル化とは何か。これからどのようにDXを推進していくのか実証事例などを踏まえてご教示していただいたこと。
アドバイザーへの要望事項	ぜひとも継続した支援をお願いしたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年2月12日	13時00分	16時10分	10	180
	派遣形態	講演(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 市職員	人数 8人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) 自治体DX化の要請が加速する中で、DXを活用しオンライン申請では既存システムの改修が必要になるが、既存システムとの連携をいかに効率よく図るのか。そのために必要な業務分析をどのようにしたらよいか。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	パソコン・スマートフォン等から行政サービスに係る各種申請がオンラインで出来ること。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	地方自治体におけるDXの推進の仕方については、例えば孤立している高齢者がいた場合、医療支援という形で家にセンサーをつけモニタリングすることによりオンライン診療などを行う事ができる。リモートを活用し申請を行い緊急時における救急対応などにも大変効果的なこと。また、相談業務などの専門性が重要視される業務にも有効なこと。しかし、今後デジタル化が加速することで住民との信用信頼性をどのように繋げていくかも重要になってくる。その他、標準準拠システムの導入についてもご教示いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	DXの導入により、これまでの処理に人をかけていたのを相談業務など専門性のある業務など人しかできない業務などへ推進していけばよい。などこれから自治体DXを推進していく上での糸口をご教示いただいたこと。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	標準準拠システムの導入に備え既存システムの改修について、システム内容の精査等。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 個別事業支援の対象が担当部署のみであったため、特にアンケートは実施していない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

